



偉人 坪内逍遙

逍遙と シェークスピア

シェークスピアはイギリス生まれで、劇作家や詩人として活躍しました。

明治17年、逍遙は日本で初めて逐次訳『自由太刀余波鋭鋒』(ジュリヤス・シーザー)の刊行以来、翻訳と研究を続け、『ハムレット』『マクベス』などを次々と手掛けました。

逍遙が『シェークスピア全

集』四十巻の個人訳を完成させたのは昭和3年、70歳のときでした。さらに昭和8年には、現代語訳を目指した『新修シェークスピア全集』を刊行。これまでに個人訳の全集を完成させたのは逍遙を置いてほかになく、近代日本文学界の先駆的、革新的な役割を果たしたといえます。



シェークスピア